

# 中川町 地域木材活用プロジェクト

## 中川町の概要

中川町は北海道上川地方の最北部に位置し、東に北見山地、西に天塩山地を望む山間の町です。この山間を流れる天塩川とその支流域に沿って南北に長く拓けた地形をしており、平野部は肥沃で農耕に適しています。基幹産業は農業、林業で、道北の広大な土地と自然環境を活かした放牧酪農や天然林広葉樹の活用が盛んです。近年移住者が急増しており、多様な事業が展開され始めています。

## プロジェクトの背景

中川町は面積の87%を森林が占める森林の町で、かつては林業と木材産業によって栄え、最盛期には7,337人が森に関わって暮らしていました。町にはたくさんの木工場がありましたが、外国産材の流入によって多くの木工場が倒産し、今では1軒も残っていません。豊かな森林資源を抱えながら、地元の木材を町内で用いる場合、伐採された丸太は遠方まで運ばれ、再び陸送されて中川町に戻ってきます。森林資源はできる限り近くで使うことが望ましく、運ぶ場合も未乾燥の丸太を長距離運ぶことは、隙間がたくさんできるため、水と空気を運んでいる現状は環境、経済の両面で課題となっています。

01471

中川町

なかがわ  
Nakagawa

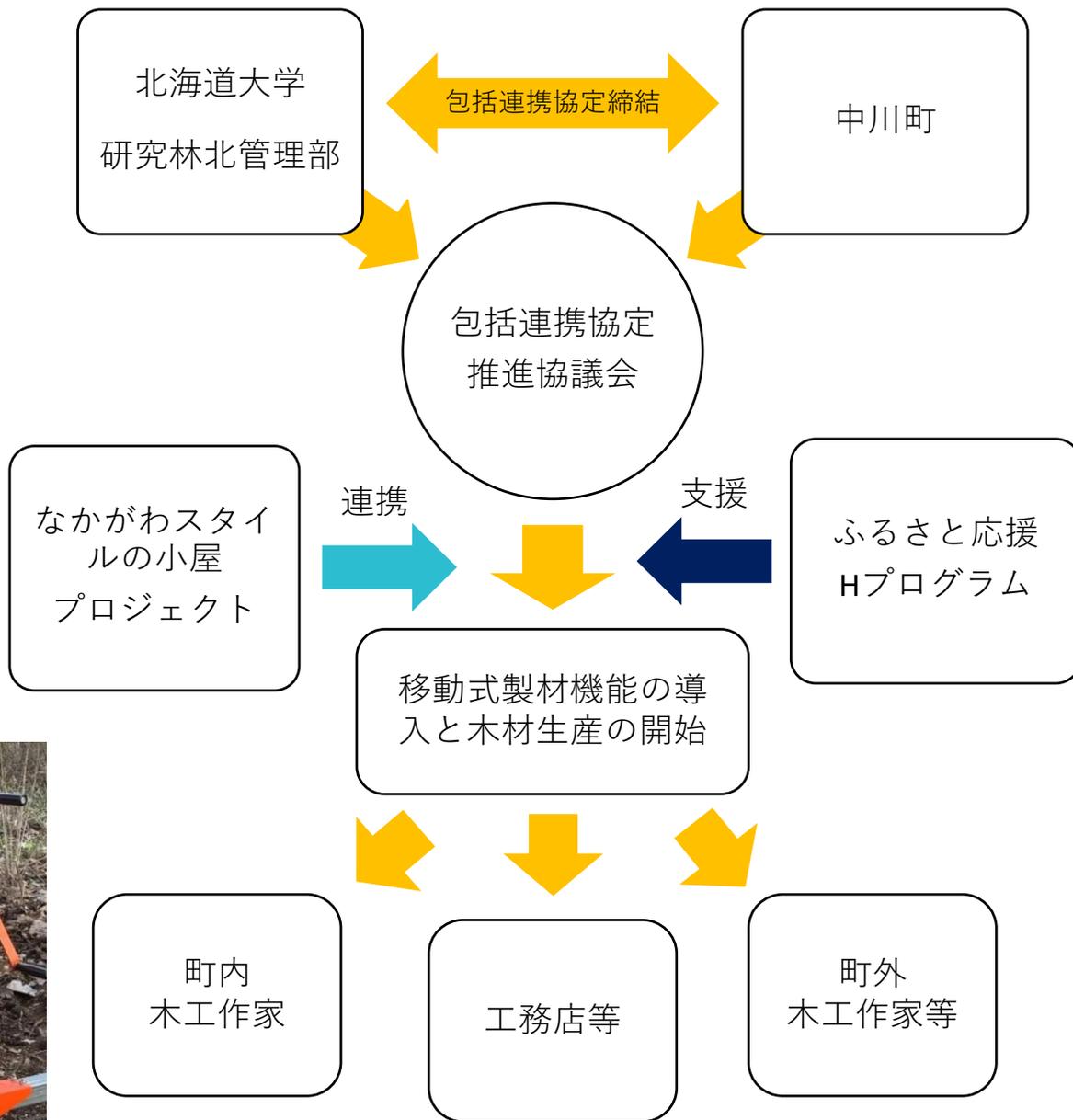


## プロジェクトの内容

①中川町の重要な資源の一つである森林資源の有効活用を図るため、移動式製材機を購入し、現地で製材した後、町内をはじめとする北海道内の木作家や家具作家に木材を供給するほか、中川町が進める「**なかがわスタイルの小屋づくり**」に用いる建築材等を地域内で供給することにより、林業、木材産業、ものづくり振興を図ります。

②本プロジェクト最初の製材は、北海道大学中川研究林内のアカエゾマツ人工林の間伐材を対象に行われる予定です。

## プロジェクトの執行体制



## なかがわスタイルの小屋プロジェクト

- ①森林資源に恵まれた中川町の木で家が建たない現状を変えるため、**Creative Office CUE**所属のオクラホマ 河野真也氏と進める中川町発のプロジェクト
- ②中川町の木や土、人や技術で小さな小屋を建てることで、木材生産、流通、加工上の課題を明らかにしました
- ③現在は、多目的な小屋の建築、移住住宅の改修に展開されています
- ④将来的には住宅の新築、空き家の改修、多目的な小屋の建築に生かしていきます
- ⑤本プロジェクトと連携することで、空き家の解消や移住者への住宅供給などが図られる予定です。



## プロジェクトが想定する成果

- ①地域に移動式製材機を導入することで、豊富な森林資源を地域内で活用することが可能となります
- ②丸太ではなく、製材を運ぶことにより、輸送コストと環境負荷の両方を低減できます
- ③町内木工作家が、町内の木を使うことで、木材トレーサビリティや生産背景を明確化できます
- ④森林資源を地域内で活用可能な状況にすることにより、木工作家だけでなく、現在はいない家具作家など、新たな移住者の獲得に貢献できます

## プロジェクトの波及効果

- ①北海道には、豊富な森林資源を有しながら、木工場の撤退等により、これを生かし切れていない自治体が少なくないため、他地域においても小規模で実現可能な事業モデルとなると考えられます
- ②ドローンを用いた森林管理指針の確立を並行して進める予定であり、近年広がりつつある広葉樹活用の利用について、持続的な保全と利用のモデル形成が図られます

